

新市建設計画（素案）

パブリックコメント（令和7年3月11日～4月9日）における意見の内容及び反映状況

【「対応状況」の区分説明】

- 「反映済み」・・・新市建設計画（素案）に記載されているもの又は記載されている内容に含まれるもの
「ご意見を受けて修正」・・・いただいたご意見をもとに修正を行ったもの
「参考」・・・ご意見として承り素案の修正等を行わないもの
「その他」・・・変更内容以外の意見等

No.	受付日	提出方法	提出者の区分	項目	細目	意見の内容	対応状況	意見に対する市の考え方
1	3/31	メール	市内に住所を有する者	新市の主要施策	美しく快適な暮らしづくり	快適なまちづくりへの提言 花巻市内の避暑空間の整備について 花巻市内の既存の公共施設の快適性向上及び、防災の観点から、屋外における“避暑空間の整備”について提言いたします。 背景と課題 近年の猛暑により、市民が安全に屋外で過ごせる環境の確保が重要な課題となっていると考えます。 2025年3月現在の花巻市内の公共施設では、昨夏の状況を踏まえ、以下のような問題が見られると考えます： - 公園内における十分な日陰・避暑空間の不足 - 花巻市内にはベンチが比較的多く設置されているものの、夏場の避暑に適した日陰付きベンチ空間に限られている - 社会情勢上のエネルギーコストの増大から、家庭におけるエアコン利用を控える傾向があり、自宅での熱中症リスクが高まっている - エアコン設備のある公共施設は混雑時やイベント利用時、設備故障時に利用できないケースがある - 代替となる避暑施設への移動は、特に高齢者や子ども連れの家族にとって負担が大きい - スーパーなどの商業施設の休憩スペースでは長居がはばかれ、市民の休息（避暑）場所としての機能は一時的である 提案内容 防災的観点も考慮した、一定時間滞在できる公園内の避暑空間づくりを推進するため、以下の整備を提案します： - 日陰付きベンチの整備 庇（ひさし）やサンシェード付きベンチの新設 既存の公共のベンチにシェードを追加、または着脱式・可動式のシェード付きベンチを新設し、利用者の声を収集する 花巻中央広場にあるような石製の長椅子や、木製座面を有した平面的な長椅子の日陰化 - 既存構造物の活用 橋の下など日陰となる既存構造物の下にベンチを設置 国や県の管轄となる河川空間についても、利用されていない日陰空間の有効活用によりコスト効率の良い整備の可能性 - 水辺空間の活用と整備 既存の水辺空間に日陰とベンチを組み合わせた休憩エリアの設置 川の水や公共の水道が利用できる近辺での「足水（足湯の冷水版）」スペースの設置 （自前のバケツなどを利用し、足から涼をとるための日陰のある屋外休憩スペース） 期待される効果 市民の熱中症リスク低減と健康増進 猛暑期間における各家庭のエネルギーコスト軽減 公共施設への過度な集中の緩和 災害時の一時避難場所としての活用 子どもからお年寄りまで多世代が利用できる屋外公共空間の充実 懸念事項 路上生活者が長期間居座ってしまうようになる可能性 公園を遊びで利用したい人たちの心理的ハードルを上げてしまう可能性	参考	ご提案いただきました屋外における避暑空間の整備のうち、1点目の「日陰付きベンチの整備」につきましては、本計画の「第4章 新市の主要施策」の「1 美しく快適な暮らしづくり」を推進する事業として掲げている公園整備事業等において参考とさせていただきます。また、2点目の「既存構造物の活用」及び3点目の「水辺空間の活用と整備」につきましては、今回の計画変更において前述の「1 美しく快適な暮らしづくり」を推進する事業として新たに追加した「かわまちづくり推進事業」において参考とさせていただきます。なお、「かわまちづくり推進事業」は、河川空間とまち空間が融合した賑わいある良好な空間形成を目指す取り組みであり、現在、国から支援をいただきながら「かわまちづくり計画」の作成を進めており、今年度の認定を目指しております。

No.	受付日	提出方法	提出者の区分	項目	細目	意見の内容	対応状況	意見に対する市の考え方
2	4月8日	メール	市内に住所を有する者	新市の主要施策	美しく快適な暮らしづくり	花巻市の公園トイレ設備に関して、以下の改善提案を申し上げます。 現状の課題 花巻市内、特に星が丘エリアの公園トイレにおいて、入口にドアが無く、かつ男性用小便器と男女共用の個室トイレが一つの空間に収まった構造が見受けられます。この設計には以下の問題点があります： 男女共用であること自体、女性にとって使いづらさがあるとの指摘があります。 小学校低学年以下の子どもの利用を前提としているためか、入口に外からの視線を遮るものが無く、成人利用者の心理的な快適性への配慮に欠けています。 確かに、幼い子どもに付き添う保護者にとっては、外から直接子ども(男子)の様子が見える構造は安心感があるかもしれませんが、成人（特に男性）にとっては、外部からの視線を気にしながらの利用となり、利便性とプライバシーの両面で問題があります。 地域発展を踏まえた改善の必要性2025年4月現在、花巻東高校周辺地域では商業施設等の発展が目覚ましく進んでいます： 野球特化型練習施設の設置 コンビニエンスストアの出店 大手カフェの進出予定 花巻東高校の周縁部が観光地化している現状を考慮すると、最寄りのショッピングモールや星が丘内の公園は週末の人々の集いの場として、今後ますます価値が高まることが予想されます。子どもだけでなく、大人も憩う空間としての利用価値向上のため、公園内トイレの改善は必要であると考えます。 具体的な改善提案の候補 ①男女別のトイレ設備の新設 ②視線を遮る構造への変更その1：入口に鍵付きの引き戸を設ける 視線を遮る構造への変更その2：入口にスイングタイプのドアを設ける 視線を遮る構造への変更その3：小便器のわきについたてを設ける 視線を遮る構造への変更その4：入口付近についたてを設ける ③入口の向きを変える ①に関しては、昨年2024年に市役所の担当課に直接聞いてみたところ「水洗化は順次行っているが、上物ごとの建て替えには相応の理由が必要」とのご回答を得ております。簡易なものでも、即時の実現可能性が高いと予想されるのは②の案と考えられます。 花巻市の魅力を引き立てる公共施設(トイレ)の整備を通じて、市民と観光客の双方に価値ある空間づくりをご検討お願いいたします。 □改善してほしいトイレ ・星が丘せせらぎ公園 トイレ(〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1丁目42) ・星が丘ふたご星公園 トイレ(〒025-0065 岩手県花巻市星が丘1丁目24-24) ・高田北公園 トイレ(〒025-0083 岩手県花巻市高田4-4) ・花巻空港 上ノ山展望所下 トイレ(〒025-0004 岩手県花巻市葛第2地割98-2) 良くない点：男女共用、ドアが無い、ドアはあるが一般利用者は中からカギがかけられない(管理者用のカギ穴はある)、遮蔽物はあるが部分的である □理想的なトイレ ・三の丸公園 トイレ(〒025-0076 岩手県花巻市城内3) ・花巻中央広場 トイレ(〒025-0086 岩手県花巻市鍛冶町4) 良い点：男女別、空間にゆとりがある、乳幼児用のおむつ交換台あり、男女共用でも空間に対してカギをかけられる。	参考	ご提案いただきました公園トイレの設備改善につきましては、本計画の「第4章 新市の主要施策」の「1 美しく快適な暮らしづくり」を推進する事業として掲げている公園整備事業等において参考とさせていただきます。
3	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	新市の主要施策	その他	実現可能性や必要性に疑念をもたざるを得ない事業が散見されるが、新市建設計画の進捗管理はどのようなスキームで行われているのか詳しく説明願いたい。	その他	新市建設計画に掲載されている事業の進捗管理については、毎年度はじめに前年度末時点の状況を担当課に照会し、その進捗状況を整理しております。 現行の新市建設計画は、掲載されている198事業に紐づく601の個別事業で構成されており、このうち、令和5年度決算ベースで、完了している事業が295事業、実施中の事業が204事業、未着手の事業が102事業で、着手率は83.03%となっております。未着手の事業の主な内容ですが、施設等が廃止されたことにより事業が中止されたもの、事業の実施主体が市以外であり、その実施主体において実施が予定されていないもの、事業実施を策定当初検討していたものの現時点において実施に至っていないものとなっております。

No.	受付日	提出方法	提出者の区分	項目	細目	意見の内容	対応状況	意見に対する市の考え方
4	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	新市の主要施策	人が輝くまちづくり	(仮称)グリーンドーム整備事業の最新の進捗状況を具体的に明示してください。併せて令和12年度迄延伸する計画期間内における実現可能性についても言及願います。(p31)	その他	「(仮称)グリーンドーム整備事業」は、日居城野テニスコート(クレー)敷地に、屋根付き全天候型の多目的人工芝コートを整備することを目指したのですが、公共施設等総合管理計画(公共施設マネジメント計画)により、公共施設については長期的な視点での総量縮減と計画的な保全による長寿命化の推進を図ることとしているところであり、「(仮称)グリーンドーム整備事業」の実現は難しいものと考えております。
5	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	新市の主要施策	人が輝くまちづくり	ドーム球場整備事業(調査)の最新の進捗状況を具体的に明示してください。併せて令和12年度迄延伸する計画期間内における実現可能性についても言及願います。(p31)	その他	「ドーム球場整備事業(調査)」は、石鳥谷ふれあい運動公園内に、全天候型のソフトボール用グラウンドを整備することを目指したのですが、公共施設等総合管理計画(公共施設マネジメント計画)により、公共施設については長期的な視点での総量縮減と計画的な保全による長寿命化の推進を図ることとしているところであり、「ドーム球場整備事業(調査)」の実現は難しいものと考えております。
6	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	新市の主要施策	活力ある躍動の産業づくり	(仮称)エーデルワイスコレクション展示館整備事業の最新の進捗状況を具体的に明示してください。併せて令和12年度迄延伸する計画期間内における実現可能性についても言及願います。(p35)	その他	「(仮称)エーデルワイスコレクション展示館整備事業」は、平成17年第4回大迫町議会において、NPO法人早池峰の里元気倶楽部から提出された「エーデルワイス記念館(仮称)の建設整備に関する請願」が採択され、その後、大迫町中心市街地活性化計画の事業として新市建設計画に引き継がれたところであります。 施設の設置場所については、エーデルワイスコレクションの寄贈者である坂倉氏と市で話し合いを行ったところでありますが、坂倉氏が希望する場所は、公道に面する入口部が建築基準法上の基準より狭く、また稗貫川に面した崖地であるうえ、敷地の南側には断層があるなど全体的に不安定な場所であり、公的建造物を設置するには難しい場所であることから断念し、引き続き、地域住民との協働の中で活用方策を見出すとしたところです。 その後、平成21年度から平成28年度まで大迫地域中心市街地顔づくり委員会が中心となり整備位置、整備内容について話合われてきましたが、場所の選定には至りませんでした。 その一方で、エーデルワイスコレクションの有効活用についても検討を続け、平成25年1月、7月、平成26年7月には商店街の空き店舗を活用し展示企画を、令和4年には花巻市総合文化財センターで企画展を実施したところです。 現時点において、市単独による施設整備は難しく、計画期間が延伸されても実現する可能性は極めて低いと考えます。 しかしながら、コレクションの活用方法につきましては、地域の方々のご意見を伺いながら検討するとともに、民間団体等において具体的な施設整備計画があった際には市として支援して参りたいと考えております。

No.	受付日	提出方法	提出者の区分	項目	細目	意見の内容	対応状況	意見に対する市の考え方
7	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	新市の主要施策	計画の推進にあたって	新庁舎整備事業(調査)の最新の進捗状況を具体的に明示してください。併せて令和12年度迄延伸する計画期間内における実現可能性についても言及願います。(p37)	その他	市役所本庁舎については、昭和45年に供用を開始し、平成10年度に耐震診断、平成11年度に耐震補強工事を完了しているほか、構造躯体の安全性の状況については、供用開始から47年経過した平成29年度に、専門家によるコンクリートの劣化度調査を行い、少なくとも以後10年以上は問題ないとの報告を受けています。 また、コンクリート劣化度調査を実施した平成29年度から10年後の令和9年度には、改めて、建物劣化度調査を行い、必要に応じてコンクリートの補強工事などを行うこととしております。 このような状況から、沿岸被災地などと異なり市庁舎改築について国の財政的支援を期待できない当市の場合、公共施設マネジメント計画において市役所本庁舎については「長寿命化による維持」を基本としているところであり、現時点では庁舎の新築計画は有していないところです。 もっとも、当市においても、将来の建物劣化度調査などにより、市役所本庁舎の安全性が確保できないなどの事由が生じた場合には、庁舎を改築する必要も想定されるかもしれませんが、しかしながら、年月が経過すればするほど、市の人口推移、自治体DXの浸透等を踏まえた職員数の見込み、さらにはテレワークの本格的な導入などによる勤務形態の変化などにより、必要となる新庁舎の規模及び機能が減少することも想定されますので、市役所本庁舎については今後も適宜建物劣化度調査を行い長寿命化することにより、できるだけ長期間使用することが有利であると考えております。
8	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	新市の主要施策	美しく快適なまちづくり	花南新駅整備事業(継続調査)の最新の進捗状況を具体的に明示してください。併せて令和12年度迄延伸する計画期間内における実現可能性についても言及願います。(p24)	その他	令和4年4月に花南地域の自治会より「花巻駅・村崎駅間の新駅設置に関する要望書」が市に提出され、その際には、新駅を設置する場合は、自治体がJRに要望し設置する「請願駅」として地元自治体で設置費用を負担する必要がある、駅舎や駅前広場、信号設備等に数十億円という莫大な費用がかかる」とされており、現時点において市が設置費用を負担することは困難であると考えている旨を回答しております。その状況は現在も変わっておらず、実現は難しいと考えております。
9	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	その他	その他	合併から20年の節目を迎えた令和7年中に合併の効果や課題を明らかにするための合併検証を実施し、合併検証白書を取りまとめ公表を行うべきではないか。	その他	令和6年2月に策定した第2次花巻市まちづくり総合計画の策定にあたって、前総合計画に掲げられた政策やその政策に紐づく施策の評価・検証を行っており、その内容を同計画に掲載しております。よって、改めて合併後の成果や課題についてのみを取り上げた検証を行うことは現時点では考えておりません。
10	4月9日	FAX	市内に住所を有する者	序論	合併の必要性	「合併の必要性」とした7つの項目(①広域化する日常生活圏に即したまちづくり、②安全で快適な生活環境の実現、③人々の価値観と暮らしの変化への対応、④少子高齢社会と人口減少への対応、⑤地域産業の振興、⑥地方分権社会に対応する体制の確立、⑦効率的・効果的行政基盤の確率)を合併検証における視点とし、本市の合併時と現状の比較、合併協定項目の対応と経過、行財政基盤や主な施策及び行政サービスの改善状況、改善を図るべきまちづくりの課題等の整理を行い市民に説明する義務があるのではないかと。	その他	令和6年2月に策定した第2次花巻市まちづくり総合計画の策定にあたって、前総合計画に掲げられた政策やその政策に紐づく施策の評価・検証を行っており、その内容を同計画に掲載しております。よって、改めて合併後の成果や課題についてのみを取り上げた検証を行うことは現時点では考えておりません。